

新成人と浦幌を語る

— 新春座談会 —



座談会出席者

西尾 維吹さん 米澤 真菜さん
 廣川 純斗さん 佐藤帆乃果さん
 浦幌町長 水澤一廣
 (司会) まちづくり政策課長 山本輝男

町長 今日は、みなさんが成人になってどんな気持ちなのかということも含め、浦幌町のことを全般にわたって、話していただけたらと思っています。緊張しないで気兼ねなく、いろいろなお話をしましょう。

司会 成人を迎えて思うことを、一言ずつお願いします。
米澤 成人だからというよりも、高校を卒業してすぐに社会人になった時の変化が大きくて、成人になってからの感想は特にありませんが、たとえば選挙権があったり、お酒が飲めるようになったり、そういう部分で許されるものが出てきたので、その半面責任があると思うながら日々過ごしています。

佐藤 私は二十歳を迎えるにあたって、これから人生どうしようかなとか、一つ一つの行動、もう子供じゃなくなるっていう面では、責任感も持たなければいけないのかとか、いろいろ考えています。
廣川 今まではまだ成人を迎えていないからと許されることもあったと思いますが、これからは成人になり、責任感や、自分が率先してやらなければならぬという思いを、より一層強く持って、行動していかなければならないのかとは思っています。
西尾 自分も社会人になるとき、浦幌の親の手の届かない場所、自分の力だけで生活していきたくて思いながらも最初は親の力を借りるしかなかったですけど、この2年間で、会社の中で大きな変化があり、職場の人数が一気に増減して、まだ2年しか働いていないのに、教える立場になっしまいました。年長者にも教えないといけないのですが、成人といってもまだ仕事の面でも、人間としても未熟なところがあるので、これからはもっと、頑張らなければいけないと思います。

町長 みなさんは最初に給料をもらったとき何に使いましたか？
廣川 4月1日から消防で働き始めて、すぐ江別の消防学校に入校し、給料日は入校したばかりの時に紙の封筒に入った給料を手渡ししてもらいましたが、初めての金額だったので、現金の重みがありました。使い道は入校の準備と体調管理、週末の外食代、訓練の資機材の購入などに使っていました。
町長 ご両親へのプレゼントは？
廣川 消防学校を卒業してから買いました。父の日、母の日を兼ねて。
西尾 給料は明細書でもらうので、自分でもらってる感覚がなくて、数字見て「こんなにもらってるんだ」と驚きました。実家から通ってるので、親に通帳渡して、ガソリン代だけもらって、あとは必要な時にもらっています。親には「お前は金持ってる」と全部使ってしまうから駄目だ」と言われています。(笑)
米澤 私は毎月生活費として親に渡す部分もありますが、初ボーナスの時に親にプレゼントしましたね。
佐藤 私は一生懸命思い出してみんですが形で送った記憶がなくて、甘えていたのかって思いました。1月で成人ですけど、ちよっと何か考えようかなって思います。
町長 自分で働いてもらったお金だから、どうやって使うかと考えるよね。あれ買いたいこれ買いたいだけじゃなく。社会に参加して、自分の働きで給料をもらう、それだけでなく高校時代と違いぶん違いうよね。ただ成人したからと言ってぐっと給料が上がる訳ではないんですけどね。(笑)
司会 浦幌に住んで働くことになった理由は？
廣川 地元が好きだったというのもあるし、小さいころから夢だった消防士という仕事があつて、地元で働いて貢献したいというのがありました。高校を卒業する年に、地元消防署の試験がありましたけど、毎年ある訳ではないので、受けさせていだだき、合格できました。きっかけとしてはやはり、地元に貢献したいとい

浦幌町教育委員会勤務

米澤 真菜さん



う気持ちが強かったですね。
西尾 自分は住んでいるだけで何もしていないんです(笑)。最初は進学して教師になろうと思ってたんですが、家の事情もあって働いています。今も教師を目指したい気持ちはあって、もしなったら縁があれば浦幌の学校に勤務してみたいなという気持ちはありますね。
町長 教師の資格を取らなければならぬ、大きな決断になるね。仕事の責任は大きいし、悩みは多いね。
西尾 なりたいものの為なら時間をかけて頑張れます。悩みがあるうちが一番楽しいと思っていますので。
佐藤 私は、もともと接客系に進もうかと考えていました。が、やりたいことと向いている事って違うかな、と高校の時に思いました。それでせっかく商業系(帯広南商業高校)に進んだので、事務の仕事ができたら、と思っていました。社会人になってすぐに一人暮らしと仕事と新しい環境っていうのができるかなっていう

浦幌町商工会勤務

佐藤帆乃果さん



不安もあり、地元という選択肢を考えていた時に、地元商工会の求人があったので受けました。想像していた以上に仕事はたくさんありますが、町を活気づけるのは商店街なんだと知り、そこに貢献できる商工会の仕事はやっぱり重要ななと思います。
米澤 私は中学生の時に今でいうキャリア実践プロジェクトの、インターシップで役場のほうに数日間お世話になりました。その時に「役場って何の仕事をしているんだろ」と、中学生なりに本当に分かりませんでした。その時にお世話になったのがまちづくり政策課と総務課でしたが、体験してみても、人のために利益を追求しないで何かするっていうのは、難しい事だけど本当に楽しい事なんだなあと、その時から公務員っていう進路を考えてました。高校は帯広南商業高校で、進学は全く考えず就職ということを考えていました。が、中学生の時の思い出があり、自分が向いているかは分からないです

十勝ハンナン株式会社勤務

西尾 維吹さん



けど、やってみてみたい気持ちがありました。公務員の試験は難しいですが、町村会の一次試験に受かって、その中の一つとして浦幌町を受けました。他の町を受験する時と違い、浦幌を受ける時には、やっぱり地元で育ってきたこともあって、面接の時にも、どういところがいいところですかと聞かれても結構すんなり出てくることができました。実際に働いてみても、地域の人とかのつながりがあったりだとか、そういった部分で本当に魅力ある町だなって、思いつながら住んでいます。

浦幌消防署勤務

廣川 純斗さん



とを教えてください。
佐藤 小学校、中学校とずっと思っていました。が、人が温かいなというのがありますし、海と山と畑、全部そろっている町村ってなかなかないと思っています。今後それを活かせる可能性は十分にあり、すてきな町だと思いますし、もともとこれから発展して行ける町だと思います。
廣川 漁業もあって、農産物もあって食べ物豊富というのがありますし、まず町づくりを浦幌町全体で行っているというのが強くある町だと思うので、そういうところが浦幌の魅力かなと思いますね。
西尾 浦幌って都市から遠く夜静かですよ。疲れて帰って来ても安眠できる。それが一番大きい。それに、みのり祭りとか大きい祭りがあれば今年も行こう、となるので、それが魅力ですね。

あと、思います。働いてから地域の人と関わることが増えて、自分も参加した「しゃっこいナイト」など、若い人たちが集まって浦幌を活性化しようという取組みがすごいと思います。
司会 若者の仕事づくりについて、こういった職場があったら良いなという思いが。あつたら教えてほしいのですが。
米澤 同級生はあまり残っていないませんが、帰って来たいという人は結構いて、職場が無いから戻って来れないのでせめて近場についていう感じで十勝にいる人は結構います。
西尾 こんな職場というよりは、若者自身がやっているような感じの職場の方が集まるんじゃないかなと思います。年上の人とやると上下関係などを気にして、ぎくしゃくする感じになってしまっていると思います。やっぱり年が近い方が話題とかもあうじゃないですか。そうなるっていいことないかなってなるのではないかなと思いますね。
佐藤 職場より、住む環境が整っている方が来やすいと思います。一人暮らしの支援とか。住むところが少ないという話を聞きます。安心して住みやすい、働きやすい環境があつたらここに就職しようと考えてる人が増えるかもしれない。

(次頁に続く)

新成人46人のうち29人が出席し祝福を受けた



浦幌町成人式が1月10日、中央公民館で開かれ、46人が大人の仲間入りしました。式には晴れ着をまとった新成人29人が出席。水澤町長の式辞のあと、米澤真菜さんの成人の誓い、佐藤帆乃果さんの交通安全宣言、西尾維吹さんが記念品を受領、廣川純斗さんが感謝の言葉を述べました。うらほろサロンコーラス、上浦幌開拓太鼓、開拓獅子舞も登場して祝福。「うらほろスタイル」の取り組みの情報提供も行われました。



成人式 晴れやかに

46人が大人の仲間に入



一生に一度、母手で一枚



弾ける笑顔

陸上部の仲間が顔を揃えた



(前頁から続く)
町長 その辺はあるかもしれない。今年からアパートを建てる人に支援を始めました。せっかく働こうと思っても住む場所がないのではないけないので。
司会 町長に聞いてみたいことはありませんか。こういう町になってほしい、というところがあれば。
米澤 具体的なことはいいですが、帯広の友達を浦幌に呼ぶとみんな「浦幌、だいすき」と言ってくれる。そういう魅力がある事を、皆さんに知ってほしい。すごい町という自信はあるので、いろんな人に分かってほしい。
町長 今、町の魅力を広めるPRビデオを製作しています。
米澤 それは楽しみです。
西尾 みのり祭りにはあんなに人が集まるのに、2回目のみのりまきが終わると、誰もいなくなってしまうのが寂しい。会場から国道までの間にいろいろなものがあったら、皆立ち止まって、浦幌を回ってくれるのではないかと思います。
佐藤 商工会関係の「おもてなし協議会」でも、同じことを繰り返しても人は集まらないという現状の中、どう改善していくかというのが今問題になっていきます。繰り返し来る人をつかみきれない。改善できることはいっぱいあると思うんです。

とと思うんですね。具体的にそれをどう実行していくのか考えたいな、とずっと思っています。
町長 町の問題でもあるよね。せっかく町の人口の6倍も7倍もの人が来るんだから、来た人が浦幌の魅力を感じてリピーターになってくれたら一番いい。
廣川 消防の立場から、道路の除雪融雪を早めに行ってほしいです。一刻も早く救急車が到達できるように。
町長 朝4時ごろから、子どもたちの通学路から優先的に取り組んでいます。浦幌町全体をいっぺんにやるのは難しいが、臨機応変に対応したいと思っています。
米澤 空き店舗がいっぱいあり寂しい。飲食店が出来たら良いと思うのですが。
町長 後継者がいないと高齢化でやめてしまう可能性が高くなり、心配です。昨年始めた婚活イベントで14組のカップルができて、成功したので、今後も続け、後継者問題解決につながってほしいと思います。是非皆さんも参加してほしい。成人したら家庭を持つことも考えていかないと。
廣川 それにはまず相手を探さなければ。
佐藤 そこはやっぱり婚活イベントに参加を。(笑)
司会 今日は大変どうもありがとうございました。